

経営改善目標の達成に向けた取組状況

1 法人の概要（令和6年7月1日現在）

法人名	(公財) かながわ海岸美化財団							
設立年月日	平成3年4月1日	代表者名	代表理事 門脇 努					
所在地	茅ヶ崎市汐見台1番7号	電話番号	0467-87-5379					
基本財産等	1,789,278,035	円	県出資額	1,400,000,000	円	県出資率	78.2	%

2 法人運営における現状の課題

- ① 自主財源（会費収入、寄附金収入、基本財産運用収入）の確保
 ② 海岸清掃事業負担金等の財源の確保
 ③ かながわプラごみゼロ宣言やSDGsの方向性に沿った海岸美化の普及啓発
 ④ 限られた予算の中での効率的な事業の運営

3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
1	海岸美化充実・強化検討会議への参画	回	2 (2)	3 (2)	(2)	(2)	(2)	A
	(担当者会議)		1 (1)	1 (1)	(1)	(1)	(1)	
	(課長会議)		1 (1)	2 (1)	(1)	(1)	(1)	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）		
担当者会議、課長会議とも開催され、海岸清掃事業に関する状況について、県及び各市町と意見交換ならびに情報提供することができたため、A評価とした。								
備考								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
2	環境出前授業「学校キャラバン」の実施	人	3,814 (うち新規1,061)	3,934 (うち新規1,304)	(うち新規)	(うち新規)	(うち新規)	A
	2,700 (うち新規 200)		3,000 (うち新規 200)	3,040 (うち新規 200)	3,070 (うち新規 200)	3,100 (うち新規 200)		
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）		
	参加人数及び新規参加人数が目標を上回ったため、A評価とした。							
備考								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
3	海岸の美化啓発のための講演等	回	13 (10)	10 (10)	(10)	(10)	(10)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場から、対面で講演を行った。目標値に達したため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
4	海岸の美化啓発のためのワークショップ開催	回	10 (5)	17 (5)	(5)	(5)	(5)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	市町の環境フェア等で実施し、目標値を大きく上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
5	海岸清掃ボランティアへの支援	人	140,947 (110,000)	166,669 (130,000)	(160,000)	(160,000)	(160,000)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	前年度に引き続き、個人や少人数の参加が増えたことで、参加人数が目標値を大きく上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
6	美化団体交流会の開催	人	341 (160)	411 (160)	(160)	(160)	(160)	A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	会場開催に加え、オンラインで配信するハイブリッド形式で実施して、交流会の成果を得られ、人数も目標値を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価
1	海岸清掃事業費負担金収入	千円	251,773	248,763				A
			(248,716)	(248,716)	(248,716)	(248,716)	(248,716)	
	(通常清掃費)		231,340	235,200				
		(227,691)	(227,691)	(227,691)	(227,691)	(227,691)		
	(緊急清掃費)	20,433	13,563					
		(21,025)	(21,025)	(21,025)	(21,025)	(21,025)		
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）		
緊急清掃費の減により、前年度の額を下回ったが、目標値を上回る収入を得られたため、A評価とした。								
備考								

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価	
2	会員の会費収入	千円	9,064	9,635				A	
		(7,500)	(7,700)	(7,900)	(8,200)	(8,500)			
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	積極的に財団事業のPRと会員加入の働き掛けを行った結果、会員数及び会費収入を増やすことができ、目標値を上回ったため、A評価とした。								
備考									

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価	
3	寄附金収入	千円	5,839	8,332				A	
		(3,200)	(3,400)	(3,600)	(3,800)	(4,000)			
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団事業に賛同する企業等から、用途を指定した寄附やごみ袋の提供を受け、目標値を上回ったため、A評価とした。								
備考									

No.	項目	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年度自己評価	
4	常勤職員数	人	8	8				A	
		(8)	(8)	(8)	(8)	(8)			
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団の業務運営に必要な最低限の職員数であり、美化啓発などで業務も増えている中で、既存の人員体制で業務を維持することができたため、A評価とした。								
備考									

4 取組実績等についての総括（法人）

当財団は、令和4年度に策定した第6次経営改善計画に基づき、一層効率的な財団運営を目指して取り組んでいる。

海岸清掃事業については、令和5年度は負担金のうち緊急清掃費分が前年度比減になったことにより、負担金収入額が減額になったが、目標額は確保できたため、海岸清掃事業を着実に実施することができた。

自主財源の確保については、財団事業の積極的なPRと会員加入の働き掛けにより、会費収入をさらに増加することができた。また、財団事業に賛同する企業等から、寄附金を受けた。

美化啓発事業については、学校キャラバンの参加人数や講演、ワークショップの実施回数が目標を達成でき、啓発の効果をあげることができた。

美化団体支援事業については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類に移行したこともあって、海岸清掃ボランティアの参加人数が大幅に増加し、過去最高の人数となった。また、美化団体交流会をハイブリッド形式で実施し、多くの参加者を得られた。

事業の実績は、全て目標値を達成することができた。今後も更に実績を上げられるよう努めていく。

5 取組実績等についての総括（所管課）

海岸清掃事業については、定期的な海岸パトロールを実施し、海岸ごみの散乱状況等を的確に把握し、通年の計画的な通常清掃とともに、荒天等による漂着ごみの急増時には緊急清掃を実施することができた。

自主財源の確保については、積極的な事業PRと会員加入の働き掛けにより、会員数及び会費収入が増加した。また、多額の寄附金や物品寄附を受けることができた。

美化啓発事業については、環境出前授業「学校キャラバン」及びワークショップは目標値及び前年度実績を上回り、講演等も積極的に事業実施した。

美化団体支援事業については、コロナ禍の影響により約3万8千人まで激減した海岸清掃ボランティア参加者数は、海岸清掃活動の情報提供や参加者への清掃用具貸出等きめ細かに支援することで、過去最高となる約16万6千人となった。また、企業・学校・関係行政機関・環境美化活動をしているボランティア等を対象とした美化団体交流会を開催し、参加者との交流を深めることができた。

今後も引き続き、財源の確保等、経営基盤の強化に努め、経営改善目標の達成に向けて指導していく。

6 第三セクター等改革推進会議の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。